

商品名 メサラジン腸溶錠400mg「サワイ」 医薬品基本情報

薬効	2399 他に分類されない消化器官用薬	一般名	メサラジン腸溶錠
英名	Mesalazine	剤型	腸溶錠
薬価	17.10	規格	400mg 1錠
メーカー	沢井製薬	毒劇区分	

メサラジン腸溶錠400mg「サワイ」の効能・効果

潰瘍性大腸炎＜重症を除く＞

メサラジン腸溶錠400mg「サワイ」の使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、類薬で過敏症の既往歴、重篤な腎障害、重篤な肝障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. サラゾスルファピリジンに対し過敏症の既往	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	慎重投与
3. 腎機能低下、肝機能低下	記載場所	用法・用量
	注意レベル	注意
4. 腎機能低下＜重篤な腎障害を除く＞、肝機能低下＜重篤な肝障害を除く＞	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

メサラジン腸溶錠400mg「サワイ」の副作用等

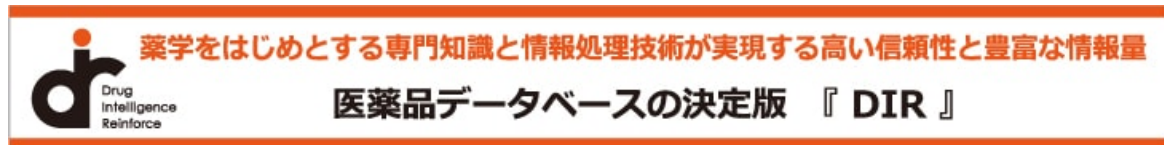
1. 異常	記載場所	用法・用量
	頻度	頻度不明

2.	再生不良性貧血、汎血球減少症、無顆粒球症、白血球減少症、好中球減少症、血小板減少症、心筋炎、心膜炎、胸膜炎、胸部痛、心電図異常、胸水、膵炎、急性膵炎、間質性腎炎、ネフローゼ症候群、腎不全、肝炎、AST上昇、ALT上昇、 γ -GTP上昇、肝機能障害、黄疸、中毒性表皮壊死融解症、Toxic Epidermal Necrolysis、TEN、皮膚粘膜眼症候群、Stevens-Johnson症候群、薬剤性過敏症症候群、発疹、発熱、リンパ節腫脹、白血球増加、好酸球増多、異型リンパ球出現、遅発性の重篤な過敏症状、ヒトヘルペスウイルス6再活性化、HHV-6再活性化、ウイルス再活性化	記載場所	重大な副作用
		頻度	頻度不明
3.	間質性肺疾患、間質性肺炎、好酸球性肺炎、呼吸困難、胸痛、咳嗽	記載場所	重大な副作用
		頻度	5%未満
4.	貧血、嘔吐、リパーゼ増加、血便、下血、血中クレアチニン増加、クレアチニークリアランス減少、発熱、耳鳴、筋肉痛、体重減少、脱毛症、ループス様症候群、赤血球沈降速度増加、倦怠感	記載場所	その他の副作用
		頻度	頻度不明
5.	過敏症、発疹、蕁麻疹、そう痒、好酸球増加、白血球減少、単球増加、腹痛、下痢、腹部膨満、悪心、消化不良、鼓腸、血中アミラーゼ増加、ビリルビン増加、AST増加、ALT増加、 γ -GTP増加、Al-P増加、LDH増加、尿中NAG増加、BUN増加、CRP増加、頭痛、めまい、関節痛、錯感覚、しびれ	記載場所	その他の副作用
		頻度	5%未満
6.	ネフローゼ症候群、間質性腎炎	記載場所	使用上の注意
		頻度	頻度不明
7.	肝炎、肝機能障害、黄疸	記載場所	使用上の注意
		頻度	頻度不明
8.	再生不良性貧血、汎血球減少症、無顆粒球症	記載場所	使用上の注意
		頻度	頻度不明
9.	膵炎	記載場所	使用上の注意
		頻度	頻度不明
10.	過敏症状、発熱、腹痛、下痢、好酸球増多、腹部痙攣、重症頭痛、発疹、急性過敏症	記載場所	使用上の注意
		頻度	頻度不明

メサラジン腸溶錠400mg「サワイ」の相互作用

1. 薬剤名等：アザチオプリン		投与条件	-
発現事象	骨髄抑制		
理由・原因	メサラジンがチオプリンメチルトランスフェラーゼ活性を抑制するなど、これら薬剤の代謝を阻害	指示	注意
2. 薬剤名等：メルカプトプリン			

発現事象	骨髄抑制	投与条件	-
理由・原因	メサラジンがチオプリンメチルトランスフェラーゼ活性を抑制するなど、これら薬剤の代謝を阻害	指示	注意



Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.